学校だより
みなみすな

令和８年度　　１１月号
令和８年１１月２日
江東区立南砂小学校
校　長　　石川　千影

「自助　共助　公助」

校長　石川　千影

少し前になりますが、9月学校公開の最終日の午後に「避難所開設訓練」を行いました。学校だけでなく、区の担当者、地域の避難所開設協力員の方々や、ジュニアリーダーのみなさんなど、たくさんの方々に参加していただき、充実した訓練が行えました。小雨が降る中でしたが、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

先日、2年生の生活科見学の際、緊急地震速報の誤報がありました。滑り台で遊んでいた2年生は、さっと集まり頭を守る姿勢を取っていました。幸い誤報でしたが、日頃の訓練が活かされていて、たとえ周りに大人がいなくても、いざというときでも、こどもたち自身が、命を守る行動が取れるかもしれないと思いました。いつか大災害が起きるかもしれないと思ってはいても、自分は大丈夫だろうと思ってしまいがちです。発災時にまず大切なのは、「自助」です。自分で自分の命を守る行動をとること。これは、毎月行っている避難訓練において、こどもたちに話しています。たとえ1年生であっても、自分で考えて行動することを日頃から訓練しておくことが大切です。「自助」の次は「共助」です。「公助」に頼る前に、まず、自分のこと、そして周りのことを見て、命を守る行動ができることが求められます。学区内に限定して考えてみても、乳幼児、高齢者、日本語でのコミュニケーションが難しい方、自宅療養されている方など、様々な方々が住んでいます。みんなで協力して、みんなの命を守れるよう、日頃からの備えがあれば、少しでも落ち着いて行動できると思います。

自然災害などが起きた際、家族がばらばらになっている時間帯なら、

どうやって連絡をとっていくか？

在宅避難に必要な水や非常食は、定期的に入れ替えているか？

建物自体が倒壊しそうな場合、何を持ち出して避難するか？

など、具体的な相談はされていますか。災害は、いつ発生するか予測は困難です。もしもに備えて、災害伝言ダイヤルの活用方法の確認や、自宅避難に対する備えの点検など、忘れないように、折に触れてご家族内で確認してみてください。「備えあれば憂いなし」です。

学校にこどもたちや教職員がいる時間帯にだけ発災するとは限りません。小中学校は避難所として機能できることが確認されてから、避難所開設となります。区の防災無線などを通して周知されます。

また、風水害など大規模水害発生時や、区の避難指示等が発令される前段階に必要に応じて避難所が開設される施設は、小中学校ではなく、区内のスポーツセンターや文化センター等になります。江東区のホームページに記載されていますので、ご家族で一緒に確認してみてください。

第2回親子読書週間のお知らせ

秋の夜長、親子で読書の時間を楽しみませんか。学校では、家庭での読書を支援するためにおすすめ本などを紹介しています。親子で本に親しむことで、読解力や想像力が育ち、会話も広がります。ぜひご家庭でも一緒に読書の時間をおもちください。

ねらい
・読書の習慣づくりのきっかけとする。
・親子の交流を深め、豊かな感性を育てる。

期　間
１１月　１日（日）～１１月　８日（日）